

## 決 議

農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校等」）は、実践的・体験的な学習活動を通して、専門的知識・技術・技能を身に付けた人材を育成・輩出することにより、我が国の社会や経済の発展に大きな役割を果たしてきた。

今日、我が国においては通信の高速化とともに、AIやIoTなど情報技術が急速に発展し、映像、音楽、書籍をはじめ様々な領域のデジタル化が進み、クラウド技術が普及したことにより、様々な分野への応用範囲が広がり、日常生活がスマートフォン一つでこなせるようになった。さらに0から1を生み出す生成AIがこの2年で急速に身近なものとなってきた。このように、情報化、グローバル化が急速に進展する中で、産業構造も大きく変化し、職業に求められる知識・技術・技能も急速に高度化してきている。その一方で、物流の2024年問題や、団塊世代が後期高齢者となることによる社会保障費の負担増や人材不足が深刻化する2025年問題が、我が国における大きな課題となっている。

このように、変化の激しい時代だからこそ、実践的、体験的な学習を通して、自ら課題を見つけ、考え、判断し、目標を達成する学びを実践している専門高校等で学ぶ生徒たちの力は必要不可欠である。

「全国産業教育振興会連絡協議会」では、産業界と教育界の強い連携の下、専門高校等の一層の充実・発展に全力を尽くし、次の事項の実現に向けて取り組むことを決議する。同時に、国及び地方公共団体等におかれては、我が国の持続的な成長・発展に欠かせない専門高校等の充実・発展に格段のご理解とご支援をお願いする。

- 一、ICT教育環境を含めた教育施設・設備を整備するための地方財政措置の拡充と都道府県等における計画的整備の推進、並びに私立学校に対する国庫補助の充実（特に老朽化した施設・設備の整備・充実及び専門学科に必要なソフトウェア、高性能なコンピュータ及び周辺装置の導入等の措置）
- 一、実践的・体験的な学習活動の充実のための専門教科担当教職員の定数及び産業教育手当の改善、教員養成における専門教科担当教員の養成の拡充
- 一、専門高校等の教育内容の充実のため、地域や企業等との連携などの特色ある教育活動や、職場体験やインターシップ等の体験活動を取り入れた、実践的能力等を身に付ける仕組みづくりの推進と支援
- 一、就職における高校生採用枠の拡大及び募集職種等の拡大、校長会等が実施する各種検定、認定制度及び生徒研究発表会等での活動実績、並びにインターンシップ等の体験活動を評価した採用
- 一、国公立大学の入試における「専門学科・総合学科卒業生選抜」の積極的な導入、校長会等が実施する各種検定試験・認定制度及び生徒研究発表会等での活動実績等を評価した入学者選抜の実施
- 一、専門高校等の生徒（専攻科生徒を含む）の保護者の経済的負担軽減を図るため、就学支援の充実及び教科用図書等をはじめ、専門教育を受けるためにかかる経費軽減に向けての方策実現
- 一、専門高校等についての理解・啓発を図る「全国産業教育フェア」等への支援、中学校における「技術家庭科」選任教員の配置拡充、企業と学校の連携のためのコーディネーター等の配置

以上決議する。

令和6年10月26日

第66回全国産業教育振興大会（栃木大会）